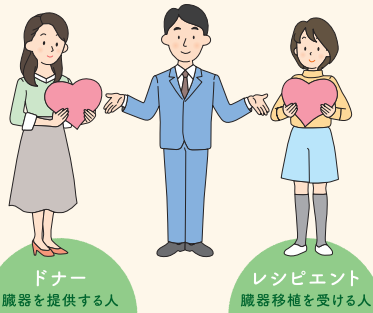


①

臓器移植医療とは

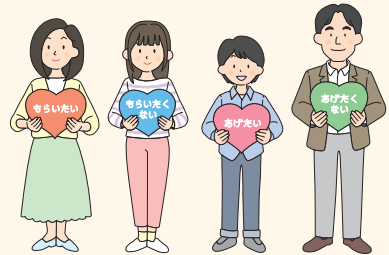
臓器移植は、病気や事故によって臓器が機能しなくなった人に、他の人の健康な臓器を移植して機能を回復させる医療です。



ドナー
臓器を提供する人

レシピエント
臓器移植を受ける人

※JOTは死後に臓器を提供したい人と臓器の移植を希望する人を橋渡しする日本で唯一の組織です。



臓器移植に関しては、一人ひとりが4つの権利を持っています。

死後に臓器を「提供する」「提供しない」
移植を「受ける」「受けない」という
権利であり、どの考え方も等しく尊重されます。

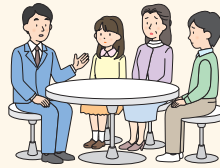
②

臓器提供の流れ

最善の治療を尽くしても回復の見込みがない場合

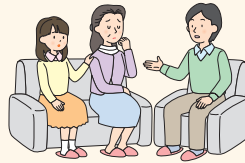
① 移植コーディネーターによる説明

家族が臓器提供について話を聴くことを希望すると、移植コーディネーターが病院を訪れ、説明を行います。



② 家族の意思決定

説明を受けた後、家族で十分に話し合いをして、臓器を提供するかどうかを家族の総意として決めます。



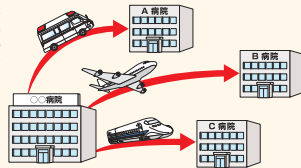
③ 脳死判定（脳死後の提供時のみ）

家族が臓器提供を決めた場合、法に基づいた脳死判定を行います。脳死判定が終了した時刻が死亡時刻となります。

④ 臓器の摘出と搬送

提供する臓器の摘出手術が行われ、移植を受ける人*のもとに迅速に運ばれます。

※JOTに登録している移植希望者の中から、医学的に基準に従って公平に選ばれます。



一人の提供で最大11人の命を救うことができます。

③

移植後の生活

移植を受けた人はスポーツをしたり、旅行に行ったり、学校や仕事に復帰することもできます。



また、レシピエントはドナーとその家族への感謝の気持ちを手紙（サンクスレター）で伝えることができます。



腎臓移植を受けた
女兒のサンクスレター

腎臓移植を受けた男児の
サンクスレター

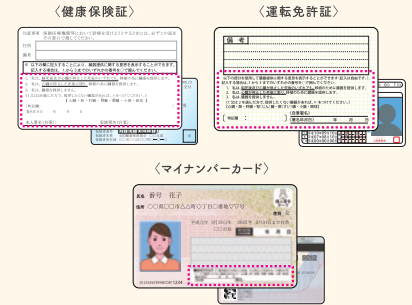
実際に移植を受けた人のインタビュー動画はこちら。

④

意思表示の方法

自分が最期を迎えたときに臓器を提供するか提供しないか、どちらの意思も示すことができます。もしものときに、家族が迷わないためにも自分の意思を表示しましょう。

健康保険証・運転免許証・マイナンバーカード（意思表示欄（例））



意思表示カード



インターネット



※意思を登録すると自宅に登録カードが届きます。

意思表示した後は家族とお互いの意思について話し合っておきましょう。